

学習課題(小学校3年生)

【算数】

<学習内容> ◆「円と球」(教科書 118~125 ページ)

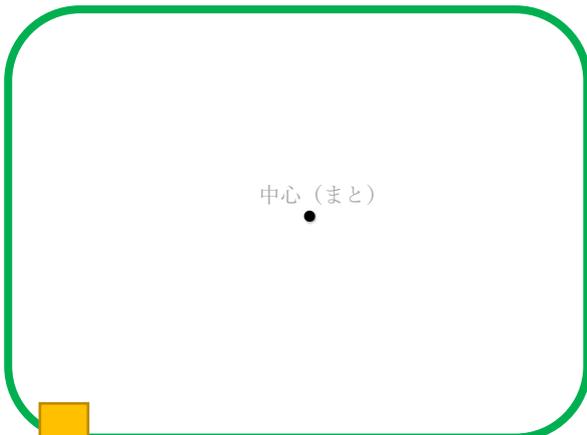
教科書 118 ページの玉入れの写真を見て、 
㊸と㊹のどちらの並び方が公平か考えましょう。

そう考えた理由を書きましょう。

人数をもっとふやして玉入れをしたみたいだな。どんな並び方にすればいいのかな？



どんな並びならたくさんの人が公平にできるかな？



中心(まど)の点から
同じ長さになるようにして
点をいくつもかいてみよう。

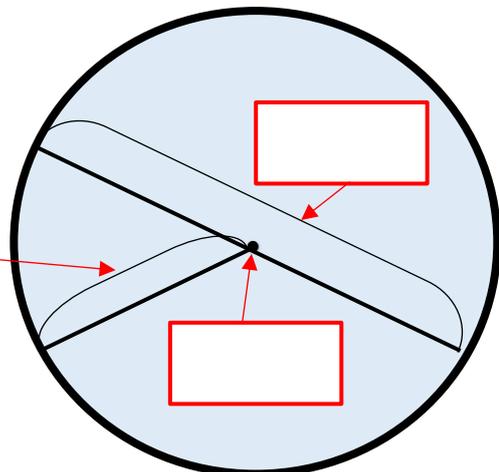
ものさしで長さをはかって点を
かきましょう。点をたくさんかく
とどんな形に見えるでしょうか？



点をたくさんかいてできた形をなんとよぶのか
教科書 120 ページを見て調べてみよう。

1つの点から同じ長さになるように
かいたまるい形を  といいます。

この形には名前がついて
いる所があります。教科書P121, 122
を読んで調べましょう。



半径4cmの円をかきましょう。

コンパスを使ってかいてみよう。コンパスの使い方は教科書P124の4にあるよ！



はりがすべる時はこの紙の下に紙をしくとかきやすくなるよ！

中心



教科書P124ページのたしかめ図をノートに、□は教科書にやりましょう。

5

本を買いに行きます。あきさんの家から近い本屋は、㊸と㊹のどちらでしょうか。

教科書P125を見て取り組みましょう。



◆「球」（教科書126～127ページ）

真上や真横からみて、円に見える形に○をつけましょう。

えらんだ形を何とよぶのか、教科書P126を調べてみましょう。



どこから見ても を、
 といいます。

教科書P127のたしかめ をノートにやりましょう。

<保護者による関わり方のポイント> ※可能な範囲でお願いします。

◆「円」（教科書118～125ページ）

・様々な大きさの円を作図したり、たしかめ問題の図のように模様をかいたりするなど、繰り返し作図する経験を積み重ねると、コンパスの扱いが上手になってきます。その上で ⁵ などの問題に取り組むことで、コンパスは円を作図するだけでなく、長さを測る道具だということも理解できるようになります。

◆「球」（教科書126～127ページ）

・御家庭にある球に近いものを使って調べ、「どこから見ても円に見える。」と実際に様々な角度から見る経験ができると効果的です。